

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、かなえようとする子ども

取組目標

中学校区の良さを知り、体験活動等を通してしなやかな感性を育む

今年度の取組紹介

午前中は、興東館柳生中学校の体育館で布目こども園と柳生こども園の子どもたちが歌や踊りを発表し、興東小学校の子どもたちが合唱と体操を、柳生小学校の子どもたちが合唱とダンス、合奏唱を発表しました。どの子どもたちも生き生きとした発表で、大変大きな声で歌い舞い、体育館内の方々に魅了しました。中学生は1・2年生が歌と合奏、ダンスを披露しました。その後、1年生が大柳生太鼓踊りの説明、2年生が口上を読み上げ、3年生が踊り、参加された地域の方々に感動を与えました。



午後からは、会場を奈良市野外活動センターへ移し、昼食後、ビンゴゲームや宝探し等のゲーム、将棋・オセロで楽しみ大きなシャボン玉を作り大変盛り上がりしました。また、特別出演の「こすもす」の方々の歌や、参加者全員でフォークダンスを踊り、楽しい時間を過ごしました。



最後に、柳生小学校の児童が、地域の方々や保護者の方にお礼と感謝の気持ちを込めた挨拶で締めくくってくれました。この取組を通して中学校区全体がさらに交流を深め、子どもたちが地域の中で生き生きと大きく成長していってくれると実感しました。



今年度のまとめ

【ふれあい広場2017】の取組から、子どもたちは、「はじまるまえは、とてもきんちょうしたけどうまくできてうれしかった。」「発表の後、会場みんなからの拍手がすがすがしく、気持ちよくって嬉しかった。」など地域の方々に支えられ、素晴らしい経験ができました。また、地域の方々も、「子どもたちが、緊張の中で自分の演技を終え、やり遂げた満足感あふれる笑顔で家族待つ席に戻った時、家族の方が最高の喜びで子どもを迎える姿を見たとき、ふれあい広場の価値を知りました。」「子どもたちの力強い真剣さに感動した。」など行事を通して、地域を知り、地域への誇り、そして学校と地域の関係を大切にしていこうとする気持ちがさらに強まりました。

来年度に向けて

今年度の取組を継承し発展させていくためにも、お互いを理解し立場を超えて協働する意義を確かめることを地域全体に浸透させ、地域ぐるみの取組としていきたいです。また、新しい人材育成、さらに地域が主体的に行事に取り組めるよう次年度に継承していきたいです。

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、かなえようとする子ども

取組目標

故郷を愛し、心豊かにたくましく生きる生徒の育成

今年度の取組紹介

ふれあい広場2017

自分達の校区のすばらしさを、自分たち自身を知ることが大事だと考え、校区の伝統や歴史を学び、そして豊かな自然の中で学習を進めています。今年の「ふれあい広場2017」では、1・2生が、「君をのせて」・「遠い日の歌」を合唱し、「コンドルは飛んでいく」「テキーラ」をリコーダーで合奏しました。また、「恋」のリズムに合わせダンスを披露し、楽しい時間を過ごしました。その後、2年生が大柳生太鼓踊りの説明を、1年生が口上を述べ、3年生が、とても重いシナイを身にまとい、最後まで「大柳生太鼓踊り」を踊り、地域の方々に感動を与えました。

・水生生物の観察

興東館柳生中学校の麓を流れる白砂川は、蛍の観光地としても有名で、水の美しさには定評があります。そこで地域の方々にご指導を仰ぎ、元氣よく生きる水生生物を観察しました。この川の水質階級はⅡで、蛍の餌となるカワニナやサワガニ等も見られ、初夏には川面を飛び交う蛍のほのかな明かりで、幻想的な風景を楽しめます。生徒たちはこの体験学習を通して、豊かな環境を保っていく学習を深めました。



今年度のまとめ

地域の方々の支援により体験学習や伝統文化などを学ぶことにより、生徒に自信と地域への誇りを育むことができました。【ふれあい広場2017】では生徒たちは、「全員の笑顔の花が満開だ」「伝統を受け継ぎ太鼓 踊り舞う」「次世代へ 伝統繋ぐ 架け橋に」と感想を俳句で表しました。生徒たちは、限られた時間の中で自分の責任を果たし、地域の方々等の拍手に大感激し、大きな達成感を得ることができた。【水生生物の観察】の取組では、「いにしへの 豊かな自然 白砂川」等の感想を俳句に表し、地域を知り、地域を大切にしていこうとする気持ちがさらに強まりました。

来年度に向けて

少人数という機動性を生かした全校体制の取組が、本校の特徴でもあり、来年度もこの利点を生かし、この地域ならではの取組をより一層積極的に進めていきたいです。また、あらゆる機会をとらえ、地域と連携し学校の存在感や活力をアピールしていきたいです。

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、かなえようとする子ども

取組目標

体験学習を通じ、柳生のよさや特色を知り、柳生を愛する子どもの育成**今年度の取組紹介****1、柳生らしさを体験的に学ぶ**

「剣聖の里」で知られる柳生では、子どもたちは、剣道を通して先人から柳生に引き継がれてきたことを、体験的に学んでいます。春から、竹刀を用いた木剣体操が、始まります。「第103回柳生地区大運動会」では、木剣体操を地域や保護者の方に見ていただきます。冬には、柳生剣友会や保護者のご協力で『第47回剣道大会』を行うことができました。寒さに耐え、子どもたちは剣道の稽古や試合を積むことにより、心・技・体を鍛えることができました。

**2、学んだことを伝えた記念発表会**

統合50周年記念式典での発表会では、1年間で地域の体験や学習や見学させてもらったことを、「柳生家の歴史」の劇として、地域や保護者の方々に自分の感想を交え発表しました。柳生の歴史の深さと楽しさを、子ども達らしく伝え、最後には、地域や保護者と「柳生小学校校歌」を一緒に歌い、統合50周年をお祝いし、絆を深めました。

**今年度のまとめ**

- ・剣道以外にも、「柳生焼」「炭焼き」「闘茶会」「茶摘み」「米づくり」「柳生歴史教室」等の柳生地域の体験活動を行いました。ふるさと柳生での、地域見学や体験活動を行うことにより、どの子も今まで以上に自分たちの郷土を誇りに思う気持ちが強くなりました。
- ・柳生剣友会の方々にお世話になり、第47回の剣道大会を開くことができました。木剣体操や剣道練習といった年間を通した取組で、柳生の歴史を身をもって学ぶことができました。心身の鍛練や礼節等様々な力を身につけたことは、今後子どもたちの人生できっと役に立つと考えています。

来年度に向けて

- ・地域人材の更なる発掘や若い世代への協力を要請し、新しい取組も展開していきたいと思えます。そのために、本事業の計画や目標等を、学校便りやホームページ更新を継続して行い、保護者や地域の方々に伝えていきたいです。
- ・本年度、興東館柳生中学校として統合3年目になり、新しい中学校区で協力し合い、「ふれあい広場2017」に集うことができました。今後も、さらに連携を深めていきたいと考えます。

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、かなえようとする子ども

取組目標

地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちに地域とのつながりを感じられる取り組みの充実

今年度の取組紹介



地域の様々な人との出会いを大切にするとともに、地域の教育力を最大限に生かし本校教育を推進しています。なかでも“もち米作り”を昔ながらの農法で行い、田起こしに始まり、田植え、草取り、稲刈り、脱穀等収穫に至るまで米に関わる年間を通しての体験学習を実施しました。また、米作りから得られる副産物（藁等）を使って全校で“しめ縄づくり”“大とんど”の活動も実施できました。米作りは、自然相手の活動であること、科学的な根拠、先人の知恵など体験したからこそわかることがたくさんありました。教えていただいた地域の方を招いて学習発表をし、児童の学びを発信し交流が深まりました。さらに、米作りの副産物である藁を使つての“しめ縄づくり”では、地域民生児童委員の方々をはじめ、児童の祖父母、保護者の有志が一堂に会し立派なしめ飾りを完成させることができました。このしめ飾りを家に供え“大とんど”で青竹の火と共に収穫の感謝と今年の豊作を願って燃やす活動を催しました。また、“養蜂農家との蜜蝋を利用したろうそくづくり”、という貴重な体験学習を行うことができました。これらの学習は地域の方の協力があった賜です。



今年度のまとめ

本年度も地域教育協議会との連携の下「ふれあい広場2017」の開催を含め、地域の方々の熱心な支援・協力のもと学校としての取り組みも順調に進めることができました。「たくさんのお客さんの前で発表して、大きな拍手をもらいとてもうれしかった。」という児童の作文からも、地域の思いや願いを知り、感謝の気持ちを表現し、学校に対する地域の方々とのつながりがさらに深まった様子がうかがえました。体験を通してふれあったり、地域の方から学んだことを発信したりすることが、豊かな学びになり、児童の成長につながっているのです。

来年度に向けて

校区から得られる人の温かさ、地域の産業、伝統文化の再確認と伝承していくことの大切さを学び、郷土のことを誇れる児童に育てていきたいと考えています。学校地域の実情に合わせた取り組みを考えて、継続していくこと変えていくこと、新たな取り組みなどを模索し、地域と連携・協働していきたいと考えます。人と人とのふれあいから生まれる豊かな心を大切に、地域との絆を大切に児童の育成に努めたいと思います。

めざす子ども像

自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、かなえようとする子ども

取組目標

自然や地域の人とのかかわりを通して心身の成長を育む。

今年度の取組紹介

今年度より、中学校区地域教育協議会に参画させていただき小・中学校・2園のこども園が共通の目的に向かって取り組めたことで、今まで以上にたくさんの地域の方々とふれあい、地域の方にいろいろな活動を通して「先生」としてお招きし子ども達に地域の特色を大事に伝え、地域ぐるみで子ども達の成長を見守っていききたいと思います。



◆ お米ができるまで ◆

5月始めに園庭の一角に“田んぼ”づくりから始め、地域の先生と一緒に田植え体験から稲刈り、はさかけ体験そして収穫したお米でおにぎりやをにぎってお客様としてお招きし、収穫祭を楽しみました。地域の方にも、子どもたちと触れ合える機会が増え「次に来るのが楽しみ。」と嬉しい言葉をいただきました。



◆ 『ふれあい広場2017』に初めて参加しました。◆

10月21日(土)に地域教育協議会事業による、『ふれあい広場2017』に2園のこども園が合同で取り組み、リズム体操と「にじ」の歌に合わせて簡単な手話を取り入れ、“虹と夢のお花”をかわい手のひらの上で咲かせることが出来ました。こども園の取り組み発表の機会を持つことが出来たことで地域とのつながりが深まり、この事業の成果を実感しました。

今年度のまとめ

○校区内の小・中学校および2園のこども園、地域コーディネーターの方々と連携を取り合い、地域全体で子ども達の豊かな経験を生かしての教育活動が展開され、こども園としても今まで以上に、地域の方に足を運んでいただきました。この地域ならではの豊かな自然環境を生かして経験からの気づきや学びにつながる視点や発想の機会をこの事業を通して子ども達、職員も含めて学び得ることが出来ました。地域の方からも交流が楽しみである、子ども達から元気がもらえる良い機会になった、などの声があり、地域全体で子どもを育てる体制づくりの活動の目的が取り組みの成果として明確になりました。

来年度に向けて

○今後も地域全体で地域の子どもの達がこの郷土に生まれ育った誇りを持ち、将来につながっていく地域の教育力の充実のため、共通の願いをもって地域の中のこども園としての役割を果たしていきたいです。

めざす子ども像

取組目標

**自分と郷土に誇りを持つとともに夢を持ち、かなえようとする子ども
身近な環境や様々な人との交流やかかわりを通して、心豊かに、主体的
に活動する子どもを育てる**

今年度の取組紹介

○柳生探険

歴史にゆかりの深い柳生の文化財や美しい自然、伝統や文化に子どもの頃からふれて欲しいという思いから、柳生探険に取り組みました。

芳徳禅寺や正木阪道場、陣家跡、一刀石など散歩をして地域の文化遺産を見たり、地域コーディネーターさんに行事のお話を聞いて見学させてもらったりしました。そのなかでことばを交わし地域の方の温かさに触れることができ、心地好さや地域の良さを四季を通して感じることができました。



○菜園活動

地域コーディネーターさん3名に、種や苗の植え方、水やりや育て方を丁寧に教えていただきました。また、畑の見学をさせてもらい珍しい青ナスの収穫の仕方を教わり、お土産にいただいて帰りました。

このような経験を通して、子どもたちは、今までよりも意欲的に水やりや草取りをして栽培活動に取り組むようになりました。

また、感謝して食事をする姿につながりました。



今年度のまとめ

柳生探険の取り組みから5歳児が柳生探険マップを作りました。次に全園児で立体的な柳生探険マップを作って、11月の柳生地区文化祭に展示しました。地域の方々から、「小さい子ども達が、こんなにいろいろ歩いて見に行ってくらいな」「地域の伝統行事や史跡興味をもち子ども達に伝えてもらっていることを嬉しく思います」と喜んでいただくことができました。

柳生のことを知って、もっと好きになってほしいと柳生探険や地域の方々との交流を生かした体験活動を行ったことで学校評価アンケートでも高評価をいただきました。

来年度に向けて

今年度の評価反省と地域や園の実態をもとに、感動体験を積み重ね、豊かな心を育て主体的に活動に取り組もうとする力を育むために引き続き、地域の教育力を取り入れ、地域の方々との交流や活動への参加を計画的に実施していきたいと思います。